

6/14

中教審答申—臨時措置法案粉碎 民主的改革

本日教授会連合統一行動に戦闘的に

連帯し御堂筋デモを叩き抜け!

本日の教授会連合デモに、大衆的戦闘的に連帯し、御堂筋デモに起る。

全市大の学友諸君、院生諸君、本日、421文部次官通達徹底 中教審答申反対、大学臨時立法粉碎のスローガンで、教授会連合によって提起された統一行動、市庁前集会、御堂筋デモとして斗なわれる。

我々はこの統一行動に、戦闘的連帯の名で以って参加しようではないか。何よりもこの行動提起が、争なれ主義を堅持して来た教官府が、現在の大学改革斗争、政府独占の攻撃の中で、文教授会に典型的に見られた従来の日和見主義、授業をやらないなら、という後退路線を一定放棄し、とにかく、斗争姿勢をとらざるをえなくなったものである事に注視せねばならない。それ故この行動が一定の不十分さを持つている事を忘れてはならないものの、それが一方で、現在の政府、独占による大学に対する帝国主義的再編、支配の攻勢を粉碎する斗争統一戦線の形成、大学教育の場における政府意志の貫徹を阻止する条件を築く上での一歩前進とする事が出来る点に注目せねばならない。

我々は本日の行動を大衆的、戦闘的に斗い抜く中で、一つの実践過程を通じて自らを高めると共に、教官府の寛政変革を促進し、更なる前進をなちこうねばならない。

単なる街頭カンパニアに解消する事なく、斗争体制構築へ邁進せよ!

我々は本日の行動を単なる街頭カンパニアに解消してはならない。この行動は市大改革斗争の中に位置づけられねばならないものであり、改革斗争と切り離された斗争は、62年大管法斗争の限界を克服するものとはならないだろう。我々は本日の行動の中で、中教審答申—臨時立法化粉碎、そしてその内実として民主的改革勝利、斗争大学の構築の意志統一をなうとねばならない。

全共中諸君の既に破産した、解体路線によつては、本日の行動を真に戦闘的に位置づける事は出来ないし、それ故に斗争事も出来ない。彼らによると不十分ではあれ、教官府が斗争立場に立つ事は、犯罪的なものであり、不十分さを克服すべく斗争ののではなく、犯罪的だから粉碎しなければならなくなるのである。又、民青諸君は、トロツキストが参加する可能性のあるから、参加するなという、全くのセクト主義、日和見主義、敗北主義を露骨に表明している。我々は、なたる、左右の日和見をのりえ、本日の行動に大衆的、戦闘的に決起し、615—620—623—624の連続斗争を斗い抜く中で、政府独占と対決する斗争体制を構築しようではないか。

スケジュール
2:00 中島
↓ 前橋
↓ 御堂筋
↓ デモ
↓ 波難

全学改革斗争委

6/14